

埼玉医科大学総合医療センター 内分泌・糖尿病内科



～初期・後期研修説明～

平成25年7月5日(金)

2009年に私が赴任しまして、皆様のご協力で3年半どうにか運営してきました。発展の下地ができてきたと感じます。地域医療で一定の役割を果たすことができていると評価していただいております。更に、日本全体の糖尿病代謝、内分泌診療にも指針を示してゆけ、次の世代を担える人材を育成することを目標にしてゆきます。

主に病棟での血糖管理をサポートするサイトです。

TEL.049-228-3564 〒350-8550 埼玉県川越市鶴田1981

Plasma glucose control
血糖管理WEBサイト

<http://www.glucose-clamp.com/pg/>

トップ

科の紹介

血糖管理

FAQ

スタッフ募集

日付ツール

カロリー計算

お問い合わせ

ブログ

LINK

常勤スタッフ

松田	昌文(教授)	東京大学	57歳
秋山	義隆(講師)	東京大学	
森田	智子(助教)	埼玉医科大学	
森澤	智子(助教)	名古屋保健衛生大学	
阿部	義美(助教)	秋田大学	
坂下	杏奈(助教)	埼玉医科大学	

その他 非常勤医師10名

当科の概要

- ・外来の内訳は糖尿病約60%、甲状腺、副腎、副甲状腺、下垂体疾患など内分泌疾患約40%。
- ・病棟は8階西病棟。糖尿病教育入院、術前血糖コントロール、ホルモン負荷試験などの予定入院のほか、DKA、低血糖脳症、粘液腫、食欲不振などの緊急入院がある。外科や産科における血糖コントロールも行う。2週間の教育入院では、医師、看護師、栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、臨床心理士、comedicalと一体となり治療にあたる。
- ・臨床研究に参加している。
- ・教授著者である「**病棟血糖管理マニュアル**」(2013年改訂)は日本の糖尿病治療の標準を世にしめしており、その中で使用される**Matsuda index**は、世界で使われる指標である。留学の要請、国際学会での活躍の場も期待できる。

初期研修医



土岐先生、高橋先生

毎月1~2名の初期研修医、1~2か月研修。
将来内科を目指している、周産期・周術期の血糖コントロールを学びたいなど様々。病棟業務として、受け持ち患者の回診・カルテ記載・カンファの発表など。週1回、外来で新患の予診、その後上級医の診察に参加し診断、治療を学ぶ。研修の最終週には論文を読みます。英語で発表すると教授喜ぶ。

糖尿病はどの科にいても遭遇する疾患です。また、甲状腺疾患も非常に多いです。将来内科を考えているはもちろん、それ以外でも将来役にたつことが学べると思うので、ぜひ選択してください。



新しい持続血糖測定器、
教授自ら体験！

後期研修医

日本糖尿病学会

日本内分泌学会

日本甲状腺学会

教育認定施設

⇒ 専門医

- ・ 病棟、外来、他病棟コンサルト、外病院2か所の糖尿病外来。
- ・ 3か月間に、高血糖・低血糖・甲状腺に関連した様々な緊急疾患をみることができた。外来では、かなりの数の甲状腺・副甲状腺疾患がいる。
- ・ ほぼ毎日行われる外来の新患カンファでは、症例の共有、フィードバックでき勉強になる。

最後に・・・

少人数ですが、様々な大学から集まっており、
和気藹々と仕事をしています。
興味のあるかたはぜひ、8階医局にいらして
ください！



松田教授よりメッセージ

為松田昌文氏

月夜共書



衆接以愛仁



世の中の為に一緒に医師として尽くしましょう